

# **個別事業説明書【PR版】**

**農 林 水 産 部**

# 1 防災・減災、国土強靱化の推進等事業 (農林水産部)

令和6年度12月補正予算(案)  
予算額 5,119,557千円

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を活用し、園地再編復旧、防災・減災対策や生産性向上のための基盤整備等を行い、県民の安全・安心の確保等を推進する。

お問い合わせ先

農林水産部

農業振興局 農地整備課 (089-912-2535)

森林局 林業政策課 (089-912-2585)

森林整備課 (089-912-2595)

水産局 漁港課 (089-912-2625)

指標

施策

KGI

別紙のとおり

現状値

別紙のとおり

目標値

細施策

KGI

別紙のとおり

現状値

別紙のとおり

目標値

事業イメージ

KPI

別紙のとおり

現状値

目標値

別紙のとおり

【園地再編復旧】



県民の安全・  
安心の確保

【森林の適正管理】



【ため池整備】



大規模災害に備えた  
防災・減災対策の推進

【治山事業】



【漁港の機能強化】



事業概要

○国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」  
「総合的なTPP等関連施策大綱」に基づく施策等の活用

・西日本豪雨で被災した園地の再編復旧

159,600千円【農地整備課】

・住民の安全確保、農地保全のためのため池等の整備

1,059,490千円【農地整備課】

・農業生産性の向上のためのほ場整備やかんがい排水施設等の整備

894,206千円【農地整備課】

・森林の適正管理・保全のための林道、森林、治山施設等の整備

2,335,195千円【林業政策課、森林整備課】

・地震、津波や施設の老朽化に対する安全性を確保するための漁港の整備

270,812千円【漁港課】

○直轄事業負担金(かんがい排水、ほ場整備)

400,254千円【農地整備課】

○債務負担行為(山地防災治山)

140,000千円【森林整備課】

# 防災・減災、国土強靱化の推進等事業 (農林水産部)

## 指標

| 施策  | 細施策   | 事項名  | KPI  |                          |  |
|---|---|--|--|--------------------------|--|
| <b>17：農林水産業の生産振興</b><br><b>KGI</b> 農業産出額<br>現状値 1,232億円 (R4年)<br>目標値 1,200億円 (R8年)<br><br><b>KGI</b> 林業・木材産出額<br>現状値 610億円 (R4年)<br>目標値 430億円 (R8年)<br><br><b>KGI</b> 漁業産出額<br>現状値 979億円 (R4年)<br>目標値 900億円 (R8年) | <b>17-6：林業の生産振興</b><br><b>KGI</b> 県産材生産量<br>現状値 679千m3(R5年度)<br>目標値 700千m3(R8年度)<br><br><b>17-9：生産基盤の保全・整備</b><br><b>KGI</b> 農林漁業の生産基盤整備率<br>(単年度)<br>現状値 34.3% (R5年度)<br>目標値 100% (R8年度) | 林業成長産業化総合対策事業費<br>(林業政策課)  | <b>KPI</b> 国の支援メニュー活用による県産材生産増加量<br>現状値 33千m3(R5)<br>目標値 34千m3(R8)                   |                          |  |
|   |   | 農地再編復旧整備事業費<br>(農地整備課)   | <b>KPI</b> 再編復旧工事を完了した地区数<br>現状値 0地区 (R1~5年度累計)<br>目標値 4地区 (R1~8年度累計)                |                          |  |
|   |   | 担い手育成基盤整備事業費<br>(農地整備課)  | <b>KPI</b> 担い手が活用する農地の生産基盤整備面積<br>現状値 63.1ha (R1~5年度累計)<br>目標値 122 ha (R1~8年度累計)     |                          |  |
|   |   | かんがい排水事業費<br>(農地整備課)   | <b>KPI</b> 農業水利施設の保全・整備完了面積<br>現状値 3,438ha (R4~5年度累計)<br>目標値 10,000ha (R4~8年度累計)     |                          |  |
|   |   | 農道整備事業費<br>(農地整備課)   | <b>KPI</b> 農道の新設路線数 (累計)<br>現状値 180路線 (S45~R5年度累計)<br>目標値 182路線 (S45~R8年度累計)         |                          |  |
|   |   | 林道整備事業費<br>(林業政策課)   | <b>KPI</b> 路網の整備延長 (当該年度)<br>現状値 2,563.4km (R4~5年度累計)<br>目標値 2,567.6km (R4~6年度累計)    |                          |  |
|   |   | 広域漁港整備事業費<br>(漁港課)   | <b>KPI</b> 整備完了により、地震・津波に対する安全性を確保した漁港数<br>現状値 8漁港 (R4~5年度累計)<br>目標値 10漁港 (R4~8年度累計) |                          |  |
|   |   | 国営南予土地改良事業費繰出金<br>(農地整備課)  | <b>KPI</b> 国営土地改良事業南予用水地区の事業進捗率<br>現状値 64% (H26~R5年度累計)<br>目標値 91% (H26~R8年度累計)      |                          |  |
|   |   | 国営道前道後平野土地改良事業費繰出金 (農地整備課)   | <b>KPI</b> 国営土地改良事業道前道後用水地区の事業進捗率<br>現状値 6% (R4~5年度累計)<br>目標値 31% (R4~8年度累計)         |                          |  |
|   |   | 国営緊急農地再編整備事業費負担金 (農地整備課)   | <b>KPI</b> 国営緊急農地再編整備事業道前平野地区の事業進捗率<br>現状値 49% (H28~R5年度累計)<br>目標値 83% (H28~R8年度累計)  |                          |  |
|   |   | <b>29：大規模災害に備えたまちづくり</b><br><b>KGI</b> 災害想定死者数<br>現状値 16,032人 (H25年)<br>目標値 2,439人 (R8年) | <b>29-6：農山漁村地域の防災対策</b><br><b>KGI</b> 農山漁村地域の災害死者数<br>現状値 0人 (R4年度)<br>目標値 0人 (R8年度) | ため池防災・減災対策事業費<br>(農地整備課) | <b>KPI</b> 下流への被害が防止された防災重点ため池割合<br>現状値 80% (H28~R5年度累計)<br>目標値 84% (H28~R8年度累計) |
|   |   |  |  | 海岸保全施設整備事業費<br>(農地整備課)   | <b>KPI</b> 整備完了により安全性が高まった県管理海岸数<br>現状値 5地区 (R1~5年度累計)<br>目標値 8地区 (R1~8年度累計)     |
|   |   |  |  | 農業水利施設防災対策事業費<br>(農地整備課) | <b>KPI</b> 防災機能が機能向上した取水堰及び排水機場数<br>現状値 1地区 (R2~5年度累計)<br>目標値 4地区 (R2~8年度累計)     |
| 地すべり対策事業費<br>(農地整備課)  | <b>KPI</b> 地すべり対策を実施した地区数 (累計)<br>現状値 73地区 (R1~5年度累計)<br>目標値 73地区 (R1~8年度累計)  |  |  |                          |  |
| 山地防災治山事業費<br>(森林整備課)  | <b>KPI</b> 土石流等による2次災害の発生防止対策がされた箇所数 (県営)<br>現状値 22か所 (R5年度)<br>目標値 20か所 (R8年度)   |  |  |                          |  |
| ため池管理保全推進事業費<br>(農地整備課)   | <b>KPI</b> サポートセンターが点検・パトロール・助言を実施した件数<br>現状値 75か所 (R4年度)<br>目標値 60か所 (R8年度)  |  |  |                          |  |
| <b>37：自然との共生</b><br><b>KGI</b> 県上における自然環境エリア<br>(自然公園、鳥獣保護区、里地里山等)の割合<br>現状値 10.1% (R5年度)<br>目標値 20% (R8年度)   | <b>37-3：農山漁村が有する地域資源の保全</b><br><b>KGI</b> 農山漁村が有する地域資源<br>の維持に向けた活動面積<br>(森林、農地、水路)<br>現状値 22,021ha (R4年度)<br>目標値 22,000ha (R8年度)   |  |  | 造林事業費<br>(森林整備課)         | <b>KPI</b> 森林整備実施面積 (当該年度)<br>現状値 1,505ha (R5年度)<br>目標値 2,000ha (R8年度)           |
|   |   | 花粉の少ない森づくり事業費<br>(森林整備課)   | <b>KPI</b> スギ人工林等植替え面積<br>現状値 65ha (R4年度)<br>目標値 80ha (R8年度)                         |                          |  |



# 2 園芸用中古ハウス等リノベーション対策支援事業費

令和6年度12月補正予算(案)  
予算額 12,145千円

生産資材が高騰する中で、コストを抑制しながら高品質な果樹・野菜類の安定生産に取り組むため、園芸用中古ハウス等栽培施設の有効活用を図る取組みに対する費用の一部を補助する。

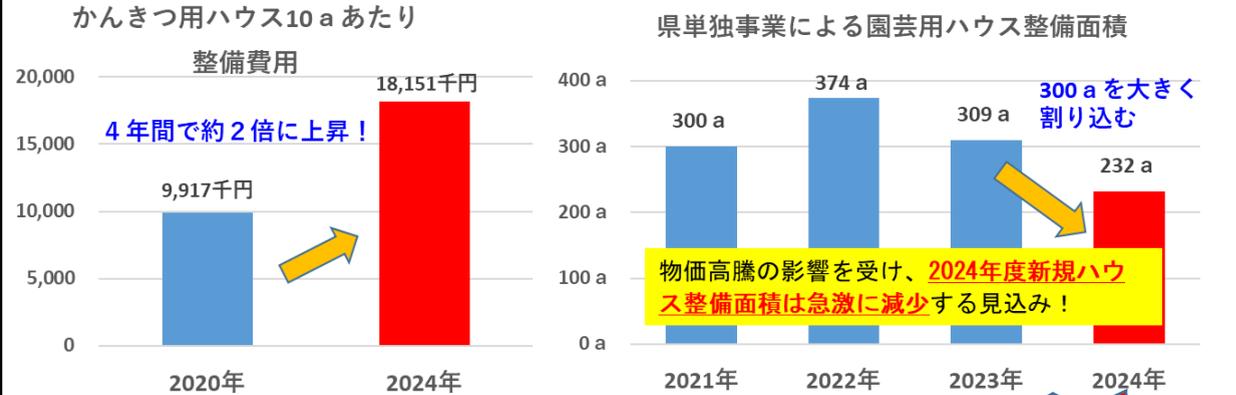
お問い合わせ先  
農林水産部農業振興局  
農産園芸課  
(089-912-2565)

|    |     |               |     |               |
|----|-----|---------------|-----|---------------|
| 指標 | 施策  | 17 農林水産業の生産振興 | 現状値 | 1,232億円 (R4年) |
|    | KGI | 農業産出額         | 目標値 | 1,200億円 (R8年) |
| 指標 | 細施策 | 17-4 農業の生産振興  | 現状値 | 329千t(R5年度)   |
|    | KGI | 主な農産物の生産量     | 目標値 | 338千t(R8年度)   |

**事業イメージ** **KPI** 支援対象農家の負担軽減率 現状値 -  
目標値 100% (R7年度)

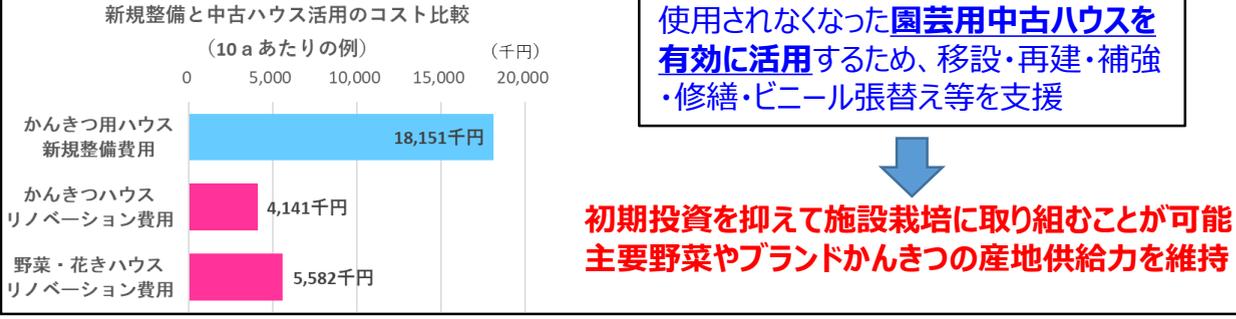
## 1 施設栽培の推進と農業用資材費の高騰

主要野菜の長期安定出荷を行うためには施設栽培が必須(野菜・花き振興計画)  
ブランドかんきつの紅まどんな、甘平、せとか、紅プリンセスは施設栽培を奨励(果樹農業振興計画)



主要野菜やブランドかんきつで高品質安定生産に取り組むためにはハウス栽培が必須であるが、物価高騰で新規整備面積が急減!  
**早急な支援が必要!!**

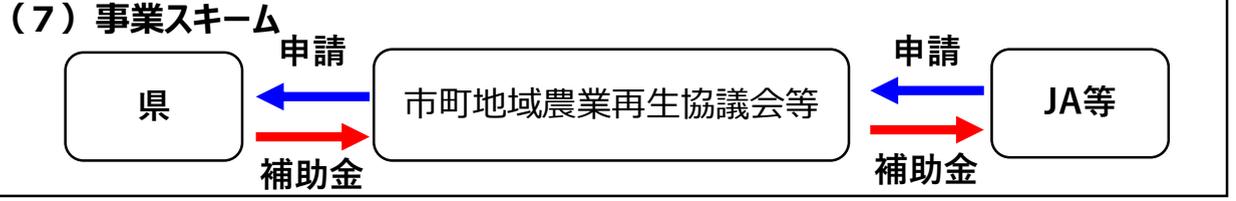
## 2 中古ハウスの有効活用



## 事業概要 【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

**園芸用中古ハウス等リノベーション対策支援補助金 12,145千円**

- (1) 補助対象施設  
中古の野菜・花き栽培用ハウス、果樹栽培用ハウス
- (2) 補助対象作物  
野菜・花き：野菜・花き振興計画で振興する主要品目  
果樹：果樹農業振興計画で振興する品種  
果樹産地構造改革計画で振興する品種
- (3) 補助対象経費  
園芸用中古ハウスの解体、移設、再建、修繕、補強、被覆資材張替え等に係る経費
- (4) 補助率 1/2以内
- (5) 事業主体(事業実施主体)  
市町地域農業再生協議会等(JA等)
- (6) 採択要件  
・ハウス等の新設に比べて低コストであること  
・事業実施後、法定耐用年数の期間内は継続して使用すること  
・園芸施設共済に加入すること
- (7) 事業スキーム



### 3 林業・木材産業効率化支援事業費

エネルギー価格や物価高騰の影響を受けている県内林業事業体・製材業者等に対し、経営の安定化や事業継続を図るため、生産性や燃費性能の向上につながる取組みを支援する。

お問い合わせ先  
 農林水産部森林局  
 林業政策課  
 (089-912-2585)

指標

|    |     |                                      |  |
|----|-----|--------------------------------------|--|
| 指標 | 施策  | 17 農林水産業の生産振興<br><b>KGI</b> 林業・木材産出額 | 現状値 610億円 (R4年)<br>目標値 430億円 (R8年)                             |
|    | 細施策 | 17-6：林業の生産振興<br><b>KGI</b> 県産材生産量    | 現状値 679千m <sup>3</sup> (R5年度)<br>目標値 700千m <sup>3</sup> (R8年度) |

#### 事業イメージ

**KPI** 支援を受けた林業事業体等の素材生産量増加率  
(県計画に基づく素材生産量増加率(+8.2%)を上回る水準を目指す)  
 現状値 -  
 目標値 10% (R7年度)

#### 現状 物価・資材高騰の影響

林業事業体 ⇒ 燃料費コスト高騰・木材価格下落  
 製材業者 ⇒ 電気代、燃料費高騰による製造コスト増

効率化・増産により経営の安定を図りたい!



生産性の向上等に取り組む事業者を緊急的に支援



< R5実績① > 林業事業体A  
**林業専用アタッチメントの導入**  
 ・路網開設→オペレータ1名で作業完結  
 ・人力作業が減少し労働災害防止に寄与  
 ・10%の増産を達成



< R5実績② > 製材工場B  
**電動フォークリフトの導入**  
 ・ランニングコスト削減  
 ・排気ガスゼロ→ほこりが舞わず職場環境の改善に寄与  
 ・12%の増産を達成

生産性向上

経営基盤の強化

省エネ性能

木材需要に対応した**県産材の安定供給力の強化**  
 県内林業・木材産業の**安定的・持続的な事業の継続**

効果

**林業・木材産業の成長産業化**  
 環境負荷低減・省エネへの貢献  
 カーボンニュートラル社会の実現

#### 事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

#### 林業・木材産業効率化支援事業

50,000千円

#### 1 事業内容

生産性や燃費性能の向上に資する機械・設備等の導入や改修に係る支援

- 高効率型機械・設備等の導入・更新  
 (フォークリフト、グラップル 等)
- 生産機械・設備の高効率化修繕・改修  
 (高性能林業機械、製材用機械 等)

#### 2 補助対象者

林業事業体、製材業者、林産物生産者 等

#### 3 採択要件

- 燃費性能や作業効率の向上が図られる機器であること
- 生産量もしくは生産性が現状値以上となる目標を設定すること
- 生産量や販路の拡大もしくは安全性の向上に取り組むこと

#### 4 補助率

1 / 2 以内 (上限250万円)

県

補助

事業者

# 4 施設園芸燃料高騰対策支援事業費

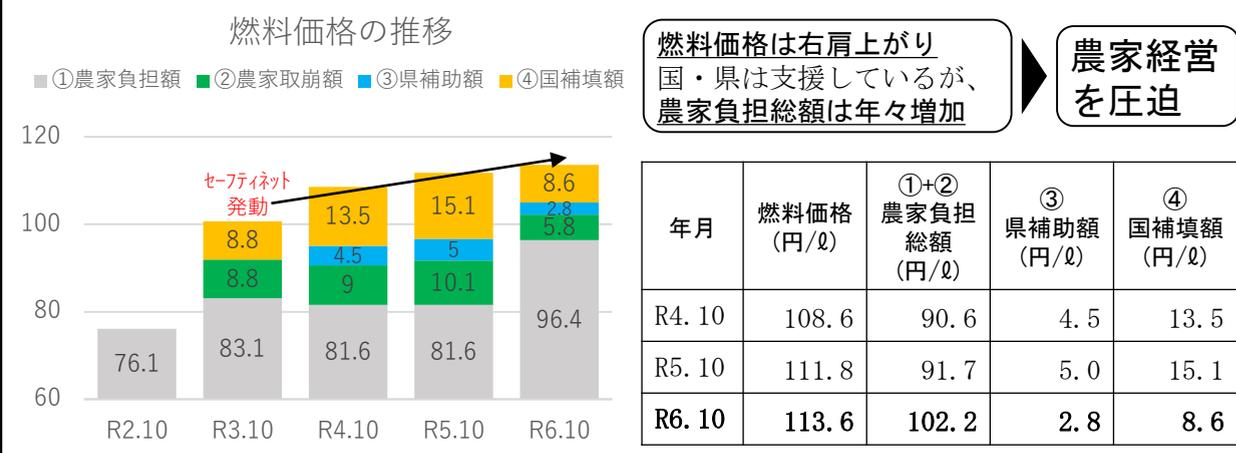
燃料価格の高騰が長期化している中、県内施設園芸農家の負担軽減を図るため、施設園芸セーフティネット構築事業に加入している農家に対して、燃料に係る経費の一部を補助する。

お問い合わせ先  
 農林水産部農業振興局  
 農産園芸課  
 (089-912-2565)

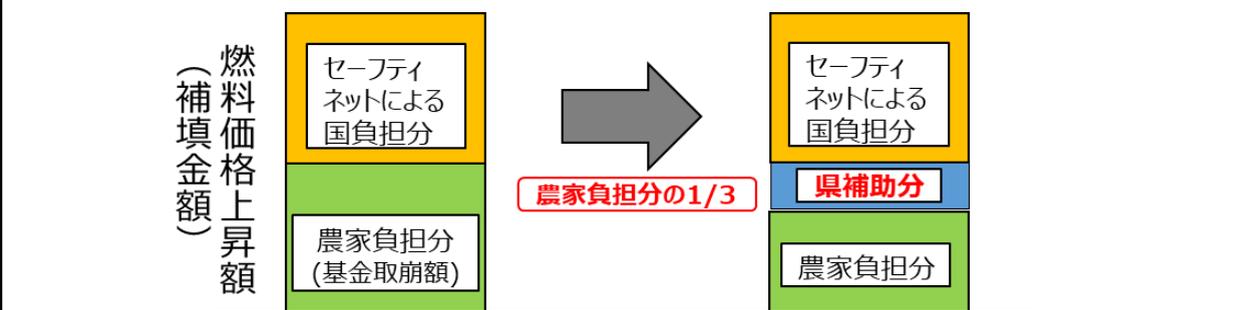
|    |     |   |  |
|----|-----|---|--|
| 指標 | 施策  | 17 農林水産業の生産振興<br><b>KGI</b> 農業産出額                     | 現状値 1,232億円 (R4年)<br>目標値 1,200億円 (R8年) |
|    | 細施策 | 17-4 農業の生産振興<br><b>KGI</b> 主な農産物の生産量（各振興計画に記載のある主要品目） | 現状値 329千t (R5年度)<br>目標値 338千t (R8年度)   |

**事業イメージ** **KPI** 施設園芸セーフティネット構築事業への加入件数 (セーフティネット構築事業への加入件数の維持を目指す) **現状値** 68件 (R6.11時点) **目標値** 68件 (R7年度)

施設園芸セーフティネット構築事業では、燃料価格が基準を上回った場合に、国と農業者が1:1で積み立てた資金から補填金を交付しているが、価格高騰の長期化等が農家経営を圧迫していることから、県はR4.10から継続して追加支援。



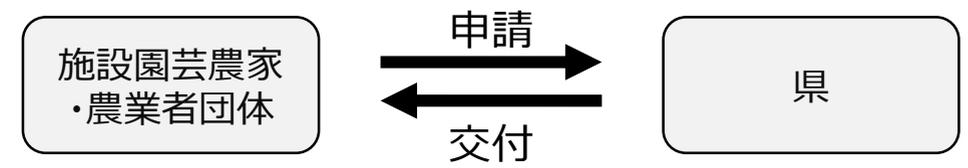
価格高騰に備える農家の負担軽減を図り、持続可能な施設園芸の推進が必要



**事業概要** 【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

**施設園芸燃料高騰対策支援事業 8,160千円**

- 1 事業対象者**  
 国のR6施設園芸セーフティネット構築事業加入者
- 2 事業内容**  
 R7年1月～6月の間に、A重油等燃料価格の高騰により、セーフティネット構築事業が発動した場合の農家積立金取崩額相当分の1/3以内を補助
- 3 採択要件**  
 国のR6施設園芸セーフティネット構築事業加入者のうち、BCPの推進など持続可能な施設園芸に向けた取組みを令和6年4月～令和7年6月に実施する(した)者
- 4 スキーム**



# 5 酪農・畜産飼料価格高騰対策支援事業費

畜産経営に必要な不可欠な飼料価格の高騰が長期化しており、想定を遙かに超えた厳しい経営環境に直面し、経営存続の危機に陥っていることから、本県畜産基盤を守るため、経営を維持し、国産飼料利用拡大や生産性向上等に継続して取り組む意欲ある農家を補助する。

お問い合わせ先  
 農林水産部農業振興局  
 畜産課  
 (089-912-2575)

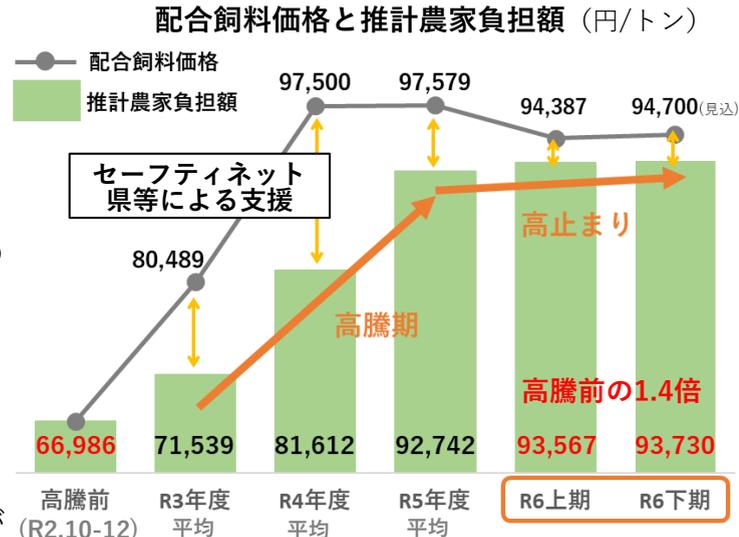
|    |     |  |     |                 |
|----|-----|--|-----|-----------------|
| 指標 | 施策  | 17 農林水産業の生産振興<br><b>KGI</b> 農業産出額          | 現状値 | 1,232億円 (R4年)   |
|    | 細施策 | 17-5 畜産の生産振興<br><b>KGI</b> 家畜（牛、豚、鶏）の飼養頭羽数 | 目標値 | 1,200億円 (R8年)   |
|    |     |  | 現状値 | 3,467千頭羽 (R5年度) |
|    |     |  | 目標値 | 3,083千頭羽 (R8年度) |

|        |                              |     |             |
|--------|------------------------------|-----|-------------|
| 事業イメージ | <b>KPI</b> 支援を受けた畜産農家の経営の継続率 | 現状値 | 100% (R5年度) |
|        |                              | 目標値 | 100% (R6年度) |

<これまでの支援>  
 県支援：R4～5年度  
 セーフティネット発動：R2年度第3四半期～R5年度第3四半期  
 国緊急支援：R4年度第3、4四半期

- セーフティネット等による急騰の抑制
- 県支援により自給飼料増産等の農家の取組みを推進

〈効果〉飼料作付面積(延べ)  
 (R3)1,669ha→(R5)1,849ha 10%増



<現状>  
 ・国際情勢や円安等により  
**高止まりの予想**  
 ・高止まりの状況ではセーフティネットが発動しない

価格高騰に対する支援により  
 経営体質強化を後押しし  
**持続可能な畜産経営を推進**

**畜産農家の配合飼料経費の増加**

- ✓ 継続的な支援を求める強い要望
- ✓ 経営体質転換が追い付かないおそれ

## 事業概要 【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

**酪農・畜産飼料価格高騰対策支援事業 135,360千円**  
 経営を維持し、生産性向上や自給飼料の生産による飼料コストの削減など経営体質強化に取り組む畜産農家に対し、取組み推進のための支援金を交付する。

- [事業主体] 県内畜産農家が加入する基金団体
  - [対象者] 配合飼料価格安定制度加入者
  - [事業要件] (1) 経営を継続すること  
 (2) 配合飼料価格安定制度に継続加入すること  
 (3) 経営体質強化の取組みを実施すること
  - [支援内容] 対象数量※1×支援単価※2/トン
- ※1 R6.10月～R7.3月期の配合飼料価格安定制度契約数量を上限  
 ※2 四半期ごとに県が算定  
 [当該四半期の推計農家負担額]-[R5年度平均の推計農家負担額]の1/2以内  
**R6年度上期(4～9月)：R6年度6月補正予算で支援実施**





# 6 畜産経営緊急支援事業費

令和6年度12月補正予算（案）  
予算額 389,912千円

飼料高騰等による経営環境の悪化により家畜飼養頭数の削減等を余儀なくされていることから、畜産生産基盤の強化を図るため、素畜導入等に係る費用の一部を補助する。

お問い合わせ先  
農林水産部農業振興局  
畜産課  
(089-912-2575)

|    |     |                 |     |                 |
|----|-----|-----------------|-----|-----------------|
| 指標 | 施策  | 17 農林水産業の生産振興   | 現状値 | 1,232億円 (R4年)   |
|    | KGI | 農業産出額           | 目標値 | 1,200億円 (R8年)   |
| 指標 | 細施策 | 17-5 畜産の生産振興    | 現状値 | 3,467千頭羽 (R5年度) |
|    | KGI | 家畜(牛、豚、鶏)の飼養頭羽数 | 目標値 | 3,083千頭羽 (R8年度) |

**事業イメージ** **KPI** 支援を受けた農家が導入・更新した素畜の飼養頭数 (R5年度規模への回復を目指す) **現状値** - **目標値** 4,200頭 (R7年度)

**事業概要** 【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

### ●畜産農家の現状

厳しい環境下から  
経営守るために

### 資金繰りDI

|     | R4     | R5     | R6上期   |
|-----|--------|--------|--------|
| 酪農  | ▲ 80.6 | ▲ 42.2 | ▲ 21.9 |
| 肉用牛 | ▲ 55.4 | ▲ 43.9 | ▲ 52.1 |
| 養豚  | ▲ 61.4 | ▲ 28.5 | ▲ 13.6 |
| 採卵鶏 | ▲ 47.5 | ▲ 59.3 | ▲ 28.3 |

※(株)日本政策金融公庫が行った農家アンケート。資金繰りが「楽になった」とする構成比(%)から「厳しくなった」とする構成比(%)を差し引いたもの

(出典) 農業景況調査

### ●愛媛の畜産生産基盤の現状



### ●素畜の導入控え

→ 経営規模が縮小

### ●繁殖素畜の更新延期

→ 産子の減少・虚弱

飼養頭羽数減 = 収入減少

※素畜…畜産物生産の素となる子牛や雛などの家畜

**悪循環**

経営が成り立たず廃業増加

本県の

飼養規模※が低下

畜産生産基盤の崩壊

※牛、豚、採卵鶏の本県飼養頭羽数をエサの消費量をもとにした家畜単位(牛1頭=豚5頭=鶏100羽)で換算した指標

素畜の導入・更新を積極的に支援

悪循環を断ち切り

県内畜産の経営安定と生産基盤強化

### 畜産経営緊急支援補助金

389,912千円

経営の維持強化を図る意欲のある畜産農家が行う素畜導入等に係る経費の一部を補助する。

[対象素畜] 搾乳用に供する乳用雌牛、繁殖用に供する雌和牛(繁殖雌牛) 肉用和子牛、繁殖母豚、自家の採卵に供する素雛(採卵素雛)

[事業主体] 愛媛県酪農業協同組合連合会、(公社)愛媛県畜産協会 全国農業協同組合連合会愛媛県本部

(一社)愛媛県配合飼料価格安定基金協会

[対象者] 経営継続に意欲ある畜産農家(酪農、肉用牛、養豚、採卵鶏)

[対象期間] 令和7年1月~12月

[支援内容] 1/2以内、1/10以内、定額

### 《スキーム》





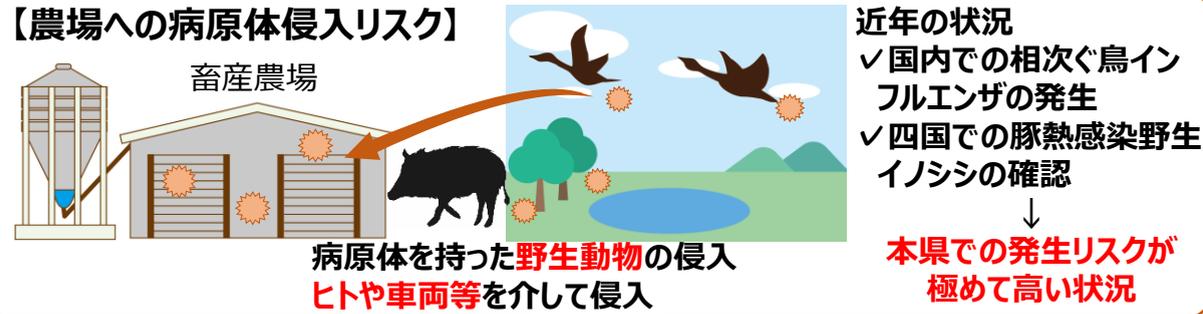
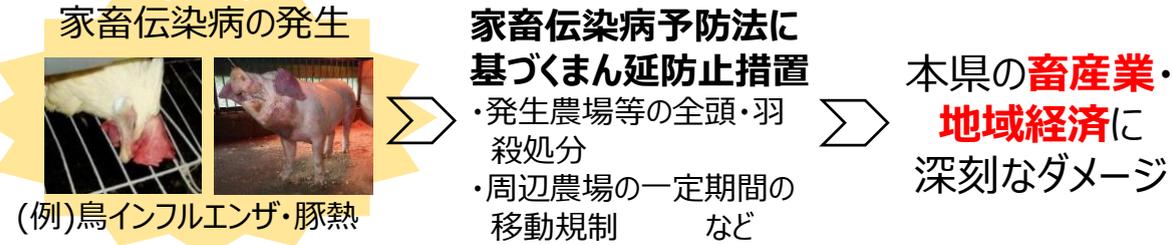
# 7 家畜自衛防疫対策支援事業費

畜産農家は生産コストの上昇により厳しい経営環境にある中、常に家畜伝染病の発生リスクにさらされていることから、農家の負担を軽減し衛生対策を強化するため、自衛防疫対策に要する資機材経費の一部を補助する。

お問い合わせ先  
 農林水産部農業振興局  
 畜産課  
 (089-912-2575)

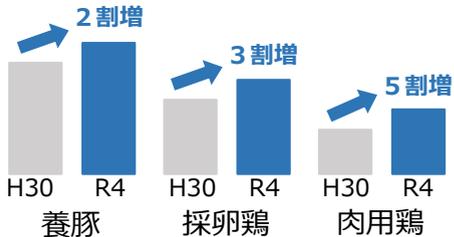
|    |     |  |     |               |
|----|-----|--|-----|---------------|
| 指標 | 施策  | 17 農林水産業の生産振興<br><b>KGI</b> 農業産出額                                | 現状値 | 1,232億円 (R4年) |
|    | 細施策 | 17-8 農林水産物の安全・安心の確保<br><b>KGI</b> 農林水産物に関する安全性リスク(病気、不適正、虚偽)発生件数 | 現状値 | 0件 (R5年度)     |
|    |     |  | 目標値 | 1,200億円 (R8年) |
|    |     |  | 目標値 | 0件 (R8年度)     |

**事業イメージ** **KPI** 家畜伝染病の発生件数  
 現状値 1件 (R6.11時点)  
 目標値 0件 (R7年度)



## 農場内に病原体を侵入させない予防対策が最も重要

〈生産コストのうち衛生対策費〉



【畜産農家の現状】  
 生産コストが上昇する中、衛生対策は不断の対応が必要

- ・衛生資材の高騰、リスクの高まりにより衛生対策費増
- ・配合飼料費の上昇(高騰前の1.4倍)

**自衛防疫対策を支援し、衛生対策を強化**

**事業概要** 【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

**家畜自衛防疫対策支援事業 51,944千円**

- 1 事業主体 家畜衛生推進協議会
- 2 対象者 県内畜産農家
- 3 対象期間 令和7年1月～6月
- 4 補助対象 自衛防疫対策に要する資機材(消耗品、設置工賃を除く)
- 5 補助率 1/2以内(上限150千円/件)

〈衛生対策の事例〉



動力噴霧器による車両消毒 出入口への防鳥ネット・カーテンの設置 噴霧消毒器の設置 飲水消毒器の設置

《スキーム》



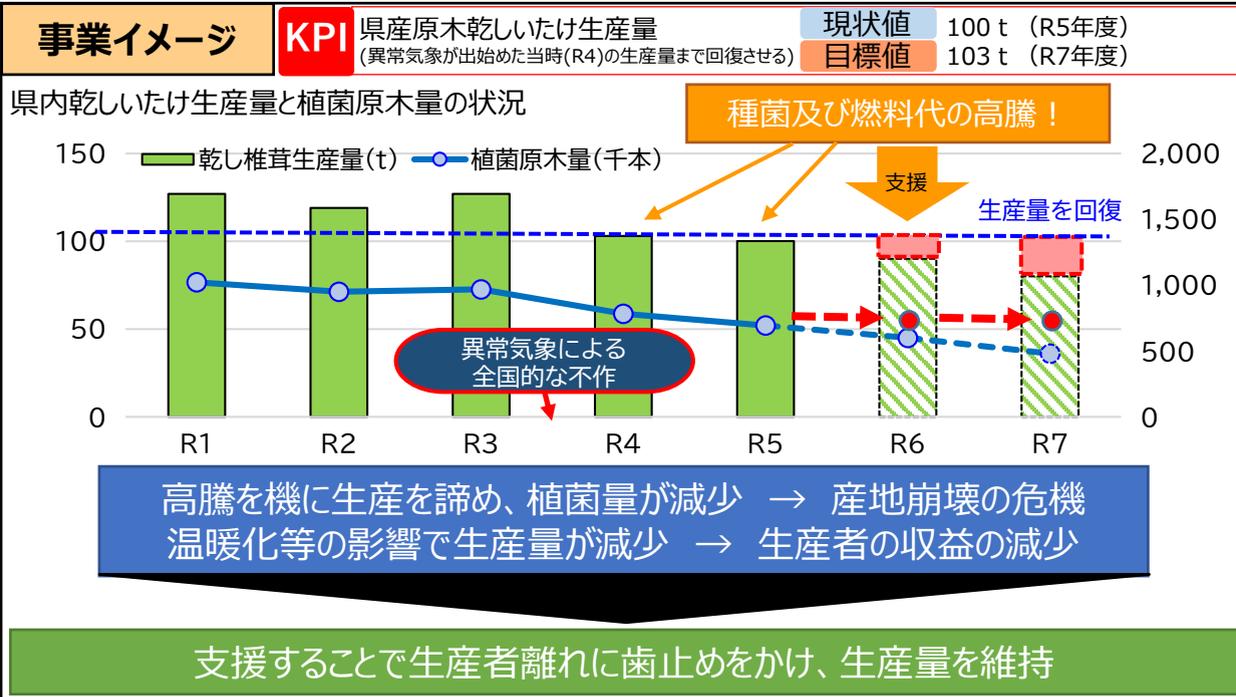
# 8 原木乾しいたけ生産環境改善支援事業費

燃油や資材等の価格が長期的に高騰し、原木乾しいたけ生産者の経営に大きな影響を与えている中、安定的な生産の回復を図るため、種菌及び燃油代の高騰分の一部を補助する。

お問い合わせ先  
 農林水産部森林局  
 林業政策課  
 (089-912-2585)

指標

|    |     |                       |     |                |
|----|-----|-----------------------|-----|----------------|
| 指標 | 施策  | 18 県産品の販売力強化          | 現状値 | 283億円 (R5年度)   |
|    | KGI | 県営業本部関与成約額            | 目標値 | 300億円 (R8年度)   |
| 指標 | 細施策 | 18-3 農林水産物の競争力強化と販路拡大 | 現状値 | 153.9億円 (R5年度) |
|    | KGI | 農林水産物の営業実績額           | 目標値 | 150億円 (R8年度)   |



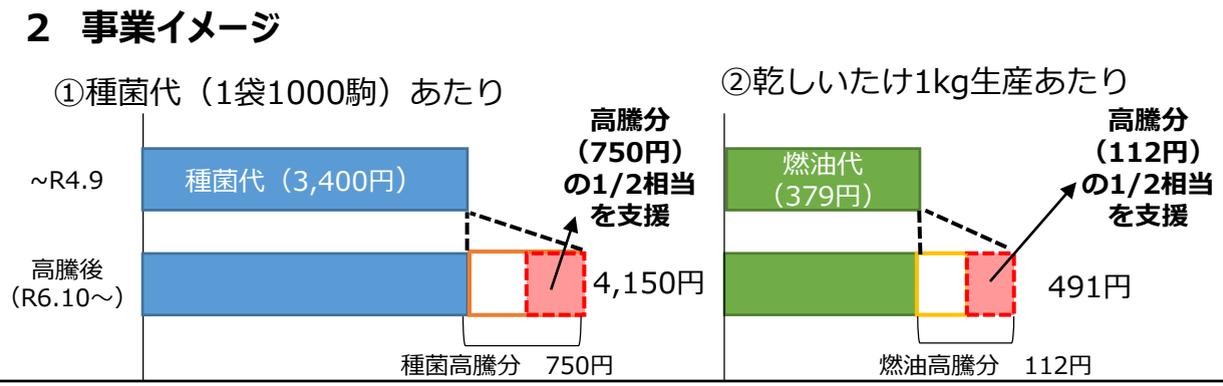
**事業概要** 【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

**1 生産環境改善支援 11,157千円**  
 事業主体：愛媛県森林組合連合会、全国農業協同組合連合会愛媛県本部  
 事業実施主体：生産環境の改善及び生産量の維持に取り組む者

①種菌代の高騰差額分に対する支援  
 補助率：1/2以内  
 補助単価：0.75円/駒 ※駒：木片に菌糸を培養させたしいたけの種  
 補助金額：5,205千円(植菌量13,880千駒×0.75円/駒×1/2=5,205千円)

②燃油代の高騰差額分に対する支援  
 補助率：1/2以内  
 補助単価：112円/kg  
 補助金額：5,606千円(乾しいたけ生産量100.1t×112円/kg×1/2=5,606千円)

③推進事務費  
 補助率：1/2以内



乾しいたけ生産量上位4県の推移

|       | 全国      | 大分県   | 宮崎県   | 熊本県   | 愛媛県   |
|-------|---------|-------|-------|-------|-------|
| R4生産量 | 2,034 t | 769 t | 360 t | 209 t | 103 t |
| R5生産量 | 1,816 t | 654 t | 310 t | 186 t | 100 t |
| 減少率   | 10.7%   | 15.0% | 13.9% | 10.6% | 2.6%  |

種菌・燃油代への支援を実施  
 → 全国的に生産量が減る中、**愛媛県は生産量を概ね維持**

# 9 原木生産等物価高騰対策支援事業費

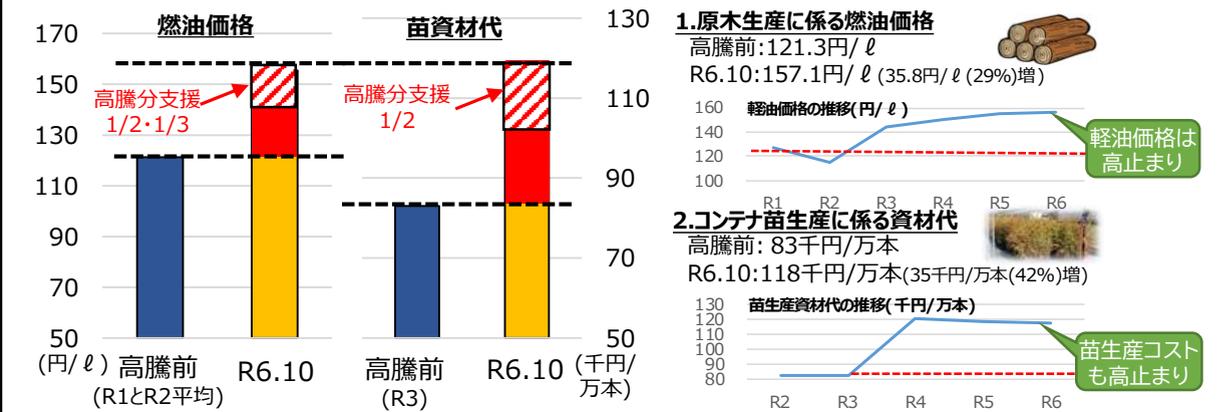
円安等の影響により燃油など価格高騰が長期化するなか、原木やコンテナ苗の生産に取り組む生産者に対し、経営の安定化を図るため、費用の一部を補助する。

お問い合わせ先  
 農林水産部森林局  
 森林整備課  
 (089-912-2596)

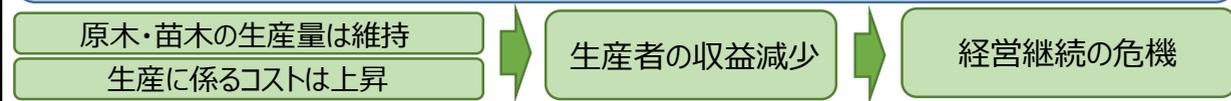
|    |     |                                      |  |
|----|-----|--------------------------------------|--|
| 指標 | 施策  | 17 農林水産業の生産振興<br><b>KGI</b> 林業・木材産出額 | 現状値 610億円 (R4年)<br>目標値 430億円 (R8年)                             |
|    | 細施策 | 17-6 林業の生産振興<br><b>KGI</b> 県産材生産量    | 現状値 679千m <sup>3</sup> (R5年度)<br>目標値 700千m <sup>3</sup> (R8年度) |

**事業イメージ** **KPI** 支援を受けた生産者の経営の継続率 **現状値** 100% (R5年度) **目標値** 100% (R7年度)

**価格高騰の状況** 「原木生産に係る燃油価格」は令和2年から、「コンテナ苗生産に係る資材代」は令和3年から高騰が継続している。



**現状** 物価高騰が継続している中でも、  
 ○原木生産量は平成29年以降、**60万m<sup>3</sup>超を維持**し、漸増傾向  
 ○苗木生産量は令和4年以降、**70万本を維持**し、再造林への安定した苗木供給体制を維持



**物価高騰が継続している中で、生産者の経営継続に県の支援が一定の効果を発揮**

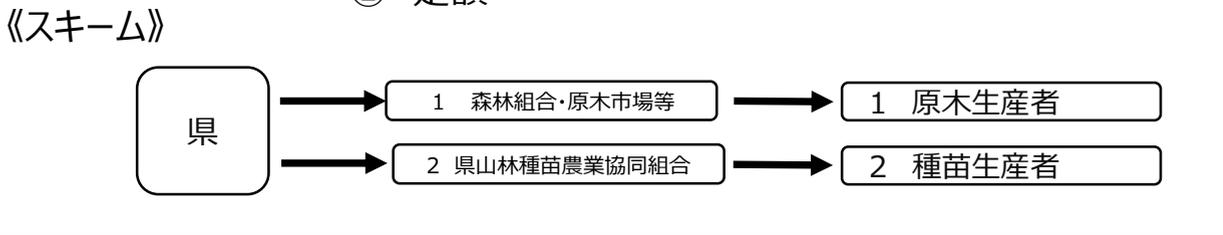
今後も継続が見込まれる物価高騰に対応するために

生産者の経営の悪化を防ぎ、  
**令和7年度に終期を迎える林業躍進プロジェクトの着実な実行を図るため、**  
 ●主伐・再造林のさらなる推進  
 ●原木生産量70万m<sup>3</sup>達成（令和7年度）に向けた継続支援を実施

**事業概要** 【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

**1 原木生産支援事業 142,761千円**  
 原木生産に取り組む生産者に対し、原木生産（伐倒から運搬）に要する燃油価格高騰分の一部を支援する。  
 ・事業主体：森林組合・原木市場等  
 ・事業実施主体：原木生産者  
 ・補助対象：① 原木生産量 ② 関連経費  
 ・補助率：① 主伐材 1/2以内、間伐材 1/3以内  
 ② 定額

**2 種苗生産支援事業 2,055千円**  
 コンテナ苗生産に取り組む種苗生産者に対し、コンテナ苗生産に要する生産資材価格高騰分の一部を支援する。  
 ・事業主体：愛媛県山林種苗農業協同組合  
 ・事業実施主体：種苗生産者  
 ・補助対象：① 苗木生産量 ② 関連経費  
 ・補助率：① 1/2以内  
 ② 定額



# 10 漁業用燃油・飼料高騰対策支援事業費

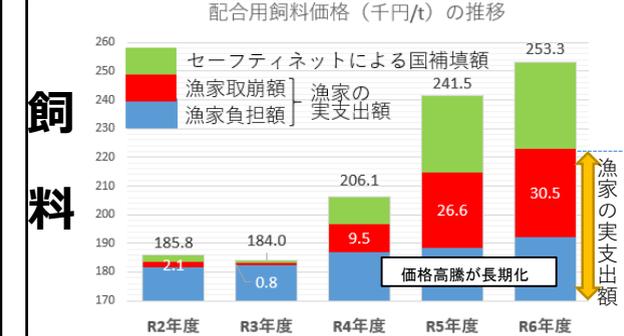
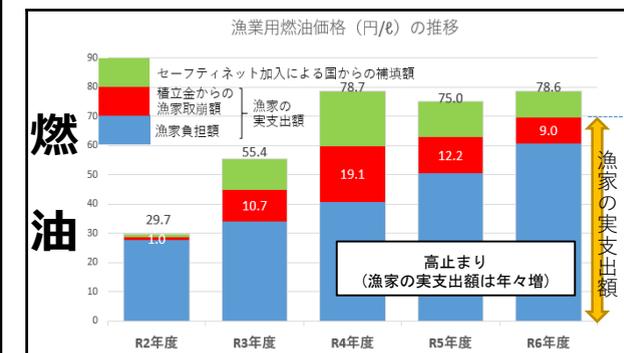
燃油や飼料価格高騰の影響を受けにくい漁家経営体質に転換を図るため、セーフティネット構築事業の加入者の維持や未加入者の加入を促進するとともに、コスト削減や収益確保の取組みを支援する。

お問い合わせ先  
 農林水産部水産局  
 漁政課  
 (代表089-912-2605)

|    |     |                  |     |              |
|----|-----|------------------|-----|--------------|
| 指標 | 施策  | 17 農林水産業の生産振興    | 現状値 | 979億円 (R4年)  |
|    |     | <b>KGI</b> 漁業産出額 | 目標値 | 900億円 (R8年)  |
|    | 細施策 | 17-7 漁業の生産振興     | 現状値 | 129千t (R5年度) |
|    |     | <b>KGI</b> 漁業生産量 | 目標値 | 143千t (R8年度) |

**事業イメージ** **KPI** セーフティネット構築事業加入件数  
(R5年度加入件数から燃油120件、飼料4件増やし(10%増)、全体で1,372(47%)の加入件数を目標とする。)

現状値 燃油 990件、飼料258件 (R5年度)  
 目標値 燃油1,110件、飼料262件 (R7年度)



・漁船漁業において**コストの約3割**を占める  
**漁業用燃油価格高騰**  
 ※R2年度平均→R6年度(上半期)平均で約2.6倍

・養殖業において**コストの7割以上**を占める  
**飼料価格高騰**  
 ※R3年度平均→R6年度(上半期)平均で約1.4倍

近年、漁船漁業の単価は下降傾向、養殖業の魚価も横這い傾向にあり、**価格高騰は、収入・支出のバランスに大きく影響**

漁家経営の安定のためには**コスト対策が必須**

コスト対策として県内漁業者の**セーフティネット加入促進の取組みを継続支援**する必要

セーフティネットへ加入(積立)  
 ⇒価格高騰分を積立金:国=1:1で補填  
 (=価格高騰に対する本人負担が1/2に)

※セーフティネット未加入→価格高騰に対する国補填が受けられず、漁家経営がひっ迫する恐れ

<これまでの取組み>  
 R4.12月補正予算、R5.4月補正予算、R5.12月補正予算で燃油・飼料高騰に対し、セーフティネット加入者の積立金等への支援

→

<成果>  
 ・セーフティネット加入者の増(73件)  
 ※本事業による補助が加入を後押し

→

<現状>  
 ・燃油・飼料価格の高止まり  
 ・継続的な支援を求める強い要望  
 ・漁家の経営体質転換が追い付かないおそれ

→ **価格高騰に対する継続的支援が必要**

**事業概要** 【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

**1 漁業用燃油・飼料高騰対策支援事業 317,932千円**  
 省エネや飼料コスト低減に取り組む漁業者に対し、漁業用燃油及び養殖用配合飼料経費の一部を支援する。

**取組内容**  
**漁家経営の生産原価軽減に向けた**以下のいずれかの取組み  
 燃油：セーフティネット加入要件の遵守に加えて、省エネへの追加取組み  
 飼料：飼料コストの低減への取組み

**対象者**  
 セーフティネットR6加入者、R7加入予定者かつ積極的に生産原価軽減の取組みを行う漁家

**取組推進費**  
 セーフティネット発動時(R6第4～R7第3四半期)の積立金取崩額相当分の1/3以内(上限1,000千円)

